

ふくいのかき

福井県生活協同組合連合会

〒910-8557 福井市開発町第2号1番1 (県民生協本部センター内)
TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

2011年3月15日 No.90

<http://www.fukui.coop/kenren/>

福井県生協連合会

検 索

収 集 ボ ラ ン テ ィ ア ま と め

Collection volunteer

2010年11月15日～2011年2月15日 (3ヶ月間)

特 徴

- ①常時持ち込まれることが多くなり、会員生協では収集ボックスを年中設置する取り組みになってきました。
- ②県民生協の福祉施設『宝永きらめき』さんから、使用済み切手の切り取りや仕分け作業を施設利用者のリハビリ作業としてやりたいと申し出がありました。県生協連合会では、仕分け作業をお願いし、整理された使用済み切手をボランティア・カフェに持ち込むようにしました。
- ③今回も他企業から手作りの収集ボックスに入れられた使用済み切手が事務局に届けられました。



収 集 量

収 集 物	10年度の量	持ち込み先
使用済み切手	2,960g	Fパネット
外国コイン (古銭含む)	国:7カ国 コイン枚数:27	ボランティア・カフェ
ベルマーク	2枚	ボランティア・カフェ
書き損じ葉書	28枚	社会福祉法人 げんきの家



切り取り作業



仕分け作業 (記念切手とそれ以外に分別)

多くの人に広く呼びかけて活動した『生協連合会ボランティア月間』は終わりましたが、事務局では、一年を通して受け付けています。『宝永きらめき』さんにもお手伝いいただき、ボランティア・カフェに持ち込んでいきますのでご協力ください。

2012年は『国際協同組合年』です。

国連では1957年より「国際年」を設け、共通の重要テーマについて、各国や世界全体が1年間を通じて呼びかけや対策を行うよう取り組んでいます。

2009年12月の総会で、国連は2012年を「国際協同組合年」(International Year of Co-operatives=IYC) とすることを宣言しました。これは、協同組合がもたらす社会経済的発展への貢献が国際的に認められた証で、特に協同組合が貧困削減・仕事の創出・社会的統合に果たす役割が着目されています。

「国際協同組合年」(IYC) には以下のような3つの大きな目的があります。

- (1) 協同組合についての社会的認知度を高める…協同組合の貢献・協同組合の世界的ネットワーク・コミュニティ構築や平和への取組などについて知ってもらう
- (2) 協同組合の設立や発展を促進する
- (3) 協同組合の設立や発展につながる政策を定めるよう政府や関係機関に働きかける

これらの目的に向かって、国際的にも国内でも様々な取り組みが行われます。

国際的には、国連や国際協同組合同盟 (ICA) などが中心となり、IYCに向けた計画が進められているほか国内でも全国実行委員会が発足し、ホームページ (<http://www.iyc2012japan.coop/>) を立ち上げています。

2010年11月にニューヨークの国連本部で国際協同組合年 (IYC) に向けた計画会議が開催され、英語によるIYCのスローガンが以下の通りに決まりました。

Co-operative enterprises build a better world

☆「協同組合がよりよい社会を築きます」☆

今後世界各地の動きをご紹介します。

Fパネット主催 平成22年度「社会貢献活動セミナー」…………… 2月24日

福井の企業における社会貢献活動の実際

福井県生協連合会も加盟している「福井県企業等ボランティア・社会貢献連絡会 (通称:Fパネット)」主催による「社会貢献活動セミナー」が開催されました。

企業・団体が社会的責任 (CSR) を果たすために、事業の維持・継続とともに環境保全や安全な地域づくり・次世代の育成などの分野での企業による社会貢献活動が盛んに取り組まれています。今回のセミナーでは、企業の資源を活用して先進的な社会貢献活動を実践している福井県内の企業の方々の講演とパネルディスカッションが行なわれました。

企業が社会的責任を果たす上で重要なのは、環境・社会・経済の

バランスをとることだとも言われています。経済 (利益を上げること) に重きを置かれていた時代から、環境やよりよい社会づくりに配慮し、広く、社会にとって有用な存在であり続けることが求められる時代へと変わってきています。社員ひとり一人が輝いて地域に貢献することで、福井に拠点を置く企業自身が地域からよりよい存在として認められ、求められる、そのための実践のヒントを得られたセミナーでした。



講演

「福井ミラクルエレファントの挑戦～たくさんの思いに支えられて～」

講師：株式会社 福井県民球団 球団代表 新谷 隆美氏

BCリーグは、地域の子どもたちを地域とともに育てることが使命。(BCリーグ憲章より)

パネルディスカッション

①NTTドコモ北陸支社

「ドコモの森」づくり推進活動を始めやっていることはささいなことだが、社員一人一人が率先して行動し、地域の発展につながればいい。

②福井信用金庫

ビジネスフェアや地域振興基金などいろいろな活動をしているが、地域の皆様と一緒に

にできるものとして「エコとの輪」活動を始めた。

③ルネサス関西セミコンダクタ株式会社

目的は「社内のコミュニケーションを良くして、会社を元気にしたい」ということだった。その活動の切り口として、生協連の海岸クリーンアップに企業として参加したり、エコキャップアートに参加するなどイベント的

な要素のある活動を以前からの社会貢献活動にプラスして実践した。

④福井市社会福祉協議会 障害者生活支援センター

企業 (技術、人材、資金、組織力、最新の情報提供) と社会福祉協議会 (福祉的サポート、場の設定) の連携で、障害のある人の社会性活力アップにつながる。

しゃきんとしてんでの、 地方消費者行政！！

2月11日

— クレちほ 第13回シンポジウム in 福井 開催 —

クレジット被害対策・地方消費者行政
充実会議(略称:クレちほ。2005年設立)
が主催するシンポジウムが福井市で開催
されました。

このシンポジウムでは、各地の消費者
行政に対する取り組みや国による支援
状況が紹介され、地方消費者行政の充
実強化策が話し合われました。また、学習
編としてクレジット被害や多重債務を対処
するために、相談窓口の相談員や行政担
当者が知っておくべきノウハウが提供され
ました。

福井県からは、佐藤弁護士が行政との
連携事例について報告されました。印鑑
を使ったねずみ講被害や宝石・化粧品販
売のマルチ商法被害が多発したことを
きっかけに、昭和58年から月1回消費生
活センターで特別相談会を開催するな
ど、全国に先駆けて行政と連携して被害
者救済にあたった事例や、「高齢者の権
利擁護」に関しては社会福祉協議会や
社会福祉士会との連携、「DV被害」に関
しては県・市町の行政や警察との連携な
ど、多重債務者問題解決も含めて地域

の諸団体との連携している事例が報告さ
れました。

「被害者の契約などに関する知識が乏
しい。だから消費者教育の充実が必要。」
「被害者が相談に来るのが遅い。もっと
早い段階で相談すれば被害は最小限に
食い止められる。だから、消費者が相談す
る窓口である消費者行政の充実が必要。」と力説されました。

クレちほシンポジウムは全国各地をま
わって福井で13回目とのことでしたが、弁
護士や司法書士など専門家だけでなく、
消費者団体である生協関係や労働団体
である福井県労働者福祉協議会などが
シンポジウムに参加したのは今回が初め
てだそうです。

現地懇談会では、福井県生協連が適
格消費者団体であるKC'sの団体正会員
であることも紹介でき、市町の消費生活
相談員との交流も図ることができました。
いざという時に役立つ活動ができるよう
に、今後も消費者自立支援のネットワーク
をひろげていきます。

クレジット被害対策・ 地方消費者行政 充実会議とは

略称:クレちほ。2005年設立。

事務局:千葉市

悪質業者がクレジットを消費者に使
わせることによって、本人の支払能力
を超える過剰な販売を行なうことによ
る多重債務・経済的破綻などが発生す
るため、その発生を防止することと、消
費者にもっとも身近な存在である地方
消費者行政の充実をめざしている団
体です。全国の弁護士や司法書士が
参加しています。



福井県生協連合会も後援しています。

建築無料 相談会の案内

— 弁護士と建築の専門家が
さまざまな相談にのります —

契約、瑕疵(かし)、欠陥住宅、住まいの不具合など
気軽にご相談ください。



日 時 3月26日(土) 午前10時～午後3時

場 所 福井弁護士会会議室
福井市宝永4-3-1 三井生命ビル7階

相談方法 ①電話相談 0776-29-7180
(相談日当日のみの特設電話番号です)
②面談相談 事前予約制(一人あたり30分程度)
予約のための電話番号 0776-23-5255

◇相談料は無料です。(なお、現地調査は有料になります)

◇主催:福井弁護士会、社団法人日本建築家協会北陸支部福井地域会

会員生協の活動報告 & 予定案内

菅浜生協

組合員有志の除雪に感謝

今年の爆雪にびっくり、海岸沿いで雪の心配のない菅浜生協も1月31日、朝の雪には驚きました。積雪は約60cm、お店の前は雪で入れません。とりあえず周辺の人の協力と歩道の確保をしました。広い駐車場は組合員の中からトラクター・テーブルリフターの所有者に協力依頼し、無事に午前中に除雪を終わりました。食材の納入や配達に時間はかかりましたが、何とかお客様のご要望に応えることが出来ました。この様な緊急対応は普段から準備が出来ません。改めて組合員の強いきずなを支えられていることに感謝をしました。ご苦労様でした。



福井県医療生協

癒しと憩いの拠点づくり …組合員ルーム「晴ればれ」誕生

昨年十月に旧薬局のあった跡地を癒しと憩いの場として有効活用しようと、つるが生協診療所の隣に「組合員ルーム」がオープンしました。医療生協嶺南ブロックが、ボランティアを広く呼びかけると12名集まり、毎週3回午前中に「おしゃべり喫茶」を開催。利用者も月平均100名を超えています。絵画や写真・詩の寄贈で雰囲気も出て診察の待ち時間を楽しくすごせると好評です。



「おしゃべり喫茶」で懇談中



組合員ルーム「晴ればれ」の外観

この嶺南ブロックの取り組みは、支部を超えてボランティアさんが集まりました。「健康づくり」から「こころの拠り所・癒しの場づくり」へと繋がってきました。ボランティアのみなさんからは「利用者さんが定着して笑顔あふれる場所になってうれしい」との声が返ってきました。

福井県民生協

福井県民生協の生活支援事業 夕食宅配・買い物代行のサービスエリアが拡大しました

2010年9月スタートした夕食宅配と買い物代行。これまでに、たくさんの方から要望や声をいただき、今年2011年2月からサービスエ



リアが広がりました。対象地区(福井市)にお住まいの方で買い物や、食事づくりにお困りの方がいらっしゃいましたらご紹介をお願いします。

■おかず5種+ごはん 月～金5食の金額2,990円(1食598円)
(県内産コシヒカリ) ※おかずだけ(6種)のコースもあります。

ご利用者からの声

毎日、弁当の蓋を開けるのを楽しみにしています。手作り感たっぷりの弁当でとても満足しています。献立のバランスも良いと思います。



◆今回、県民生協の夕食宅配・買物代行の事業が、経済産業省の「買い物弱者対策支援事業」の補助事業のひとつとして認められました。今後、鯖江市や越前市、敦賀市にもこの事業を広げ買い物弱者への支援で組合員、地域社会へのお役立ちを高めていきます。



拡大エリア

〈福井市〉

大宮・春山・菅谷・御幸・勝見・豊島・手寄・日の出・加茂緑苑町・つくも・足羽・有楽町・門前・湊町・福・福新町・運動公園・桃園・明里町・若杉・若杉浜・加茂河原・西学園・水越・渡町・飯塚町

現エリア

〈福井市〉

松本・宝永・中央・文京・田原・乾徳・花月・順化・照手・光陽・豊岡・学園・日光